

材料

使用量は一例です。

A	稲ワラ	1000 kg
	雑草（乾燥）	
B	米ぬか	30 kg
他	バймフード	2 kg



1.材料を用意します。ワラは10-15cm程度に細断されているものを使用し、水分を含ませます。



2. 木枠の底にワラを敷き詰め、その上から米ぬかとバймフードを混合したものを散布します。そのままでは通気性が良すぎて熱が上がりにくいため、木枠の周囲を踏み固めます。



3. ワラを積み上げ、その上からその上から米ぬかとバймフードを混合したものを再度散布します。



4. 周囲を踏み固めた後、木枠を一段上に引き上げます。



7. 雨水流入による水分過剰を防ぐため、上部をビニール等で覆います。



8. 好気性発酵を促すため、定期的な切り返しを行います。
(水分が不足しているようなら散水します。)
切り返しのタイミングは次ページの表を参考に行ってください。

ワラを積む。

バймフード、米ぬかをかける。

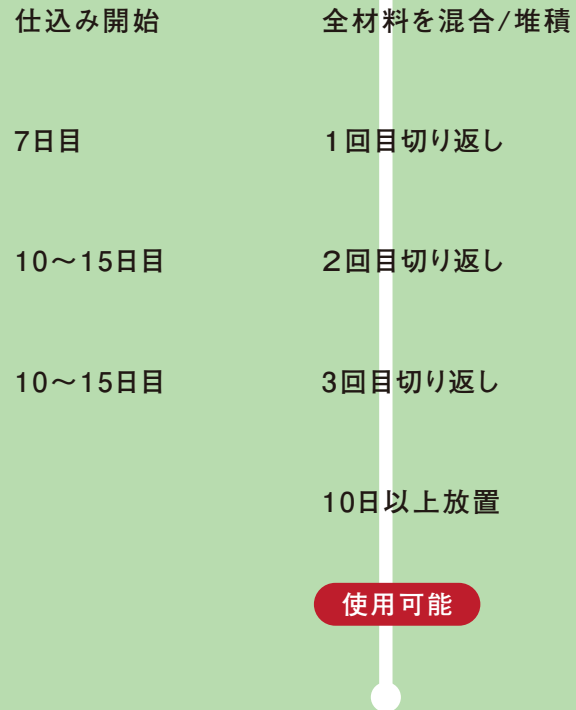
周囲を踏み固める。

木枠を引き上げる。

6. 2~4の工程を繰り返し、高さ1.8m程度まで積み上げます。
(1.8mで乾燥ワラ1トン相当になります。)

堆積期間、繰り返し

〈温醸ワラ堆肥〉



〈速醸ワラ堆肥〉



完成！

9. 臭気がほとんどなく、光沢のある茶褐色（アメ色）になれば使用可能です！